

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス そら		
○保護者評価実施期間	令和8年3月1日		～ 令和8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和8年3月1日		～ 令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	不登校児童の支援	不登校児童の原籍校に毎月当事業所での体験活動や学習内容を報告し、それを以て原籍校への出席認定としている。	不登校児童への支援をさらに手厚いものにするため、体験活動や学習支援に関する研修を実施している。
2	発達障害児童に対する学習支援	教員免許所持者や学習塾での学習指導経験者が利用児童に対し、学習支援を実施し、児童の学力向上に努めている。	指導能力が高い学習支援者を採用し、さらなる指導力の強化に取り組む。
3	職業体験	将来の就労を見据え、協力事業所にて職業体験を行っている。	職業体験の協力事業所を増やし、様々な職業体験を実施し、将来の就労の選択肢を増やす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の年齢層が若く、福祉の経験や知識が豊富なベテラン職員が少ない。	不登校児童を対象とするフリースクール型放課後等デイサービスの型を取っているため、採用の際、福祉職の経験者がきわめて少ない。	福祉職経験者を積極的に採用する。
2	フリースクール型放課後等デイサービスとしての機能の周知が近隣地域の利用対象者や社会資源に対して不十分である。	SNSや実際の営業による、当事業所の周知活動が不十分である。	SNSや実際の営業活動により、当事業所の機能の周知が必要である。
3	アセスメントツールを利用した、心理的アセスメントや心理に関する相談業務。	公認心理士、臨床心理士等の心理資格所持者や心理職経験者が不在である。	公認心理士、臨床心理士等の心理資格所持者や心理職経験者を積極的に採用する。